

文系向の基礎化学Ⅰ(2)

[成績評価の方法・観点]

毎回の講義の際に実施する小テストの点数にもとづく平常点（100点満点）で評価する。

[教科書]

馬場 正昭『教養としての基礎化学』（化学同人）ISBN:978-4759814583（京大生協に電子版あり。）
各受講生が教科書を持っている前提で授業をおこなう。このため、教科書の図表を資料として配布することはしない。ただし、教科書にない図表を追加資料として配布する場合もある。

[参考書等]

（参考書）

馬場正昭、廣田襄『化学がめざすもの』（京都大学出版会）ISBN:978-4814002665
松浦壮『量子とはなんだろう(ブルーバックス)』（講談社）ISBN:978-4065200001
平山 令明『暗記しないで化学入門(ブルーバックス)』（講談社）ISBN:978-4065260678
大沢文夫『大沢流手作り統計力学』（名古屋大学出版会）ISBN:978-4-8158-0674-3
その他の参考書は授業の進展に合わせて随時紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

教科書（本文の記述や例題、練習問題）、配布する授業資料、参考書などを使用して必ず予習をおこなって授業に臨むこと。また、授業後には理解の確認のために復習をおこなうこと。それぞれ90分程度おこなうことを推奨する。特に、高等学校において「化学基礎」および「化学」を履修していない場合には、授業の理解に必要な知識を自習しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

毎回の講義で京都大学の学習支援システムを使用して小テストをおこないますので、インターネットに接続可能なノートPCかタブレットを持参してください。また、出席登録システムによる出欠確認をおこないますので、学生証を必ず持参してください。出席が確認できない場合には、点数は成績には反映されません。なお、小テストを適切におこなうために履修人数の制限を実施します。

電子メールによる問い合わせは、大学付与のメールアドレス（***@st.kyoto-u.ac.jp）からktakeda@kuchem.kyoto-u.ac.jpあてに送信してください。その際、タイトルの一部に科目名を入れておいてください。ただし、授業内容に関する質問は、できるだけ授業中におこなってください。

[主要授業科目（学部・学科名）]